

授業科目	看護学				単位	4		
履 修	選択	関連資格	養教一種免		ナンバリング	WE21511J		
開講年次	2	開講時期	後期	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP2-1 DP3-1 DP4-1 DP5-1			
担当教員	西丸 月美							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>看護の概念、看護の歴史及び養護教諭として必要な看護の基礎理論と養護診断について解説する。各論においては、ライフサイクルに応じた、小児看護、思春期看護、耳鼻咽喉科疾患の看護、眼科疾患の看護、歯科保健などについて解説する。実務家教員として、養護教諭の執務と学校保健および看護との関係について考察を加える。さらに、児童生徒等に多く見られる突発的な傷病について、緊急度の判断の方法及び適切な処置・対応を行うために必要な知識と技術についても解説する。適時、グループ演習、レポート作成、プレゼンテーション等を課す。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人間理解を深め、看護の視点から健康の考え方を説明できる。 2. 看護職の職業倫理について説明できる。 3. ナイチンゲールの看護理論を理解し、看護の歴史的発展を説明できる。 4. 養護診断の考え方を理解し、看護の過程について説明できる。 5. 看護理論のまとめとして、プレゼンテーションすることができる。 6. 小児看護・思春期看護及び耳鼻咽喉科疾患・眼科疾患の看護の基礎知識を理解し、説明できる。 7. 口腔疾患と保健活動について説明できる。 8. 障がいのある児童生徒等への対応について説明できる。 9. 応急手当の基本を習得し、個別の対応について説明できる。 10. フィジカルアセスメントを理解し、適切な内科的・外科的処置・対応について説明できる。 11. 養護教諭の職業倫理について説明できる。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	50	0	20	30	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)	20		10				30	
知識・理解 (DP1-2)	20						20	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	10		5				15	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)			5	5			10	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)				15			15	
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)				10			10	
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
標準的なレベルの全てを達成した上で、演習等の課題に積極的に取り組み、看護総論と各論の小児看護、思春期看護などの知識を修得し、学校保健と看護との関係について考察を加え、説明できるレベルを理想的なレベルとする。				養護教諭に必要な看護学理論を学び専門性を発揮できるように能力態度を培う科目であるので、行動目標がすべてできることを標準的なレベルとする。				

授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	テーマ:オリエンテーション 授業の全体像と進め方について説明する。	講義	予習:シラバスを読んでくること。	30
2	テーマ:健康と人間理解 健康の考え方について解説する。	講義	予習:テーマについて予習する。 復習:授業で学んだことを整理する。	45 45
3	テーマ:看護の定義と看護職 看護の概念と看護職・保健医療チームについて解説する。	講義	予習:テーマについて予習する。 復習:授業で学んだことを整理する。	45 45
4	テーマ:基礎看護論 看護行為の基本と看護活動の内容について解説する。	講義	予習:テーマについて予習する。 復習:授業で学んだことを整理する。	45 45
5	テーマ:看護職の倫理(1) ナイチンゲール誓詞について解説する。	講義	予習:テーマについて予習する。 復習:授業で学んだことを整理する。	45 45
6	テーマ:看護職の倫理(2) 看護職の倫理綱領について学ぶ。(GW)	講義 演習(GW)	予習:テーマについて予習する。 復習:授業で学んだことを整理する。	45 45
7	テーマ:ナイチンゲールの看護理論(1) ナイチンゲールの看護覚書を解説する。	講義	予習:テーマについて予習する。 復習:授業で学んだことを整理する。	45 45
8	テーマ:ナイチンゲールの看護理論(2) ナイチンゲールの功績について学ぶ。(GW)	講義 演習(GW)	予習:テーマについて予習する。 復習:授業で学んだことを整理する。	45 45
9	テーマ:看護理論のまとめ(1) 班別にプレゼンテーションを実施する。(GW)	講義	予習:テーマについて予習する。 復習:授業で学んだことを整理する。	45 45
10	テーマ:看護理論のまとめ(2) 班別にプレゼンテーションを実施する(GW)	講義 演習(GW)	予習:テーマについて予習する。 復習:授業で学んだことを整理する。	45 45
11	テーマ:小児看護(1) 小児看護の基礎知識について解説する。	講義	予習:テーマについて予習する。 復習:授業で学んだことを整理する。	45 45
12	テーマ:小児看護(2) 小児看護の基礎知識について学び、発表し討議する。(GW)	講義 演習(GW)	予習:テーマについて予習する。 復習:授業で学んだことを整理する。	45 45
13	テーマ:思春期看護(1) 思春期看護の基礎知識について解説する。	講義	予習:テーマについて予習する。 復習:授業で学んだことを整理する。	45 45

14	テーマ:思春期看護(2) 思春期看護の基礎知識について学び、発表し討論する。(GW)	講義 演習(GW)	予習:テーマについて予習する。 復習:授業で学んだことを整理する。	45 45
15	テーマ:口腔疾患と保健活動(1) 口腔疾患と保健活動について解説する。	講義	予習:テーマについて予習する。 復習:授業で学んだことを整理する。	45 45
16	テーマ:口腔疾患と保健活動(2) 口腔疾患と保健活動について学び、発表し討論する。(GW)	講義 演習(GW)	予習:テーマについて予習する。 復習:授業で学んだことを整理する。	45 45
17	テーマ:眼科疾患、皮膚疾患と看護(1) 眼科疾患、皮膚疾患の看護の基礎知識について解説する。	講義	予習:テーマについて予習する。 復習:授業で学んだことを整理する。	45 45
18	テーマ:眼科疾患、皮膚疾患と看護(2) 眼科疾患について学び、発表し討論する。(GW)	講義 演習(GW)	予習:テーマについて予習する。 復習:授業で学んだことを整理する。	45 45
19	テーマ:耳鼻咽喉科疾患と看護(1) 耳鼻咽喉科疾患と看護の基礎知識について解説する。	講義	予習:テーマについて予習する。 復習:授業で学んだことを整理する。	45 45
20	テーマ:耳鼻咽喉科疾患と看護(2) 耳鼻咽喉科疾患と看護の基礎知識を学び、発表し討論する。(GW)	講義 演習(GW)	予習:テーマについて予習する。 復習:授業で学んだことを整理する。	45 45
21	テーマ:母性看護(1) 母性看護の基礎知識について解説する。	講義	予習:テーマについて予習する。 復習:授業で学んだことを整理する。	45 45
22	テーマ:母性看護(2) 母性看護の基礎知識を学び、発表し討論する。(GW)	講義 演習(GW)	予習:テーマについて予習する。 復習:授業で学んだことを整理する。	45 45
23	テーマ:障がいのある児童生徒の理解と看護(1) 障がいのある児童生徒への対応について解説する。	講義	予習:テーマについて予習する。 復習:授業で学んだことを整理する。	45 45
24	テーマ:障がいのある児童生徒の理解と看護(2) 障がいのある児童生徒への対応について学び、発表し討論する。(GW)	講義 演習(GW)	予習:テーマについて予習する。 復習:授業で学んだことを整理する。	45 45
25	テーマ:養護診断について(1) 養護診断の考え方と進め方について解説する。	講義	予習:テーマについて予習する。 復習:授業で学んだことを整理する。	45 45
26	テーマ:養護診断について(2) 養護診断について解説し、発表し討論する。(GW)	講義 演習(GW)	予習:テーマについて予習する。 復習:授業で学んだことを整理する。	45 45
27	テーマ:まとめ 看護学のまとめをする。	講義	予習:テーマについて予習する。	45 45

			復習:授業で学んだことを整理する。	
28	テーマ:まとめ 看護学のまとめをする。	講義・演習	予習:テーマについて予習する。 復習:授業で学んだことを整理する。	45 45
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	看護学では、これまで学んできた解剖学、生理学、微生物学等をもとに養護教諭として必要な実践的な看護の理論等を学ぶものであるので、子どもの発達過程や学校保健を理解しておくことはもちろんである。さらに、医学、解剖学、微生物学、公衆衛生学、子どもの福祉に関する知識等を必要とする。			
テキスト	「養護教諭のための看護学」(大修館書店) 「からだの地図帳」 講談社			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	参考図書:授業中に紹介する。 教材:必要に応じて資料を配布する。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	事前に教科書や配布された資料を予習して授業に臨んでください。また、ETV(教育関連の放送)や新聞報道等での看護関連情報を収集して授業に臨むようにしてください。			
達成度評価に関するコメント	試験及びレポート内容,発表等については、授業の中で指示する。			